科目名称	在宅看護方法論Ⅱ（訪問看護技術）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年 後期	1	30
担当教員	大北米香	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】授業概要

地域で暮らす対象に応じた訪問看護を展開するために、各看護学領域で学んだ知識・基礎看護技術を統合し、対象の日常生活をアセスメントし援助する日常生活援助技術及び療養生活に必要な医療ケアについて学ぶ。

【2】学習目標

1. 地域･在宅看護の基本となる、コミュニケーション技術・面接技術について説明できる。
2. 地域･在宅での暮らしを支える看護の視点で日常生活をアセスメントし援助する要点を説明できる。
3. 地域･在宅での暮らしを支える看護の視点で日常生活援助技術を習得できる。
4. 地域･在宅での療養生活に必要な、各種の医療ケアの要点を説明できる。
5. 地域･在宅看護論の授業内容を振り返り、自己の在宅看護観と在宅看護論実習に臨む課題を持つことができる。

【3】第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断･行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携･協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域における暮らしを支えるコミュニケーション	講義
2	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(1)	講義
3	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(2)	講義
4	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(3)	講義
5	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(4)	講義
6	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(5)	講義
7	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(6)	演習
8	暮らしを支える地域・在宅看護技術（日常生活援助技術）(7)	演習
9	在宅療養を支える地域・在宅看護技術(医療ケア)(1)	講義
10	在宅療養を支える地域・在宅看護技術(医療ケア)(2)	講義
11	在宅療養を支える地域・在宅看護技術(医療ケア)(3)	講義
12	在宅療養を支える地域・在宅看護技術(医療ケア)(4)　訪問時のマナー	講義･演習
13	在宅療養を支える地域・在宅看護技術(医療ケア)(5)	講義･演習
14	在宅療養を支える地域・在宅看護技術(医療ケア)(6)	講義･演習
15	筆記試験･まとめ	

【5】評価方法

筆記試験 75%，演習への取り組み状況 10%，提出課題 15%で総合的に評価する。

【6】教科書

河原加代子：系統看護学講座　専門分野　地域在宅看護論 2　地域・在宅看護の実践（第 6 版） 医学書院　2023

【7】参考書

臺 有桂 他編：ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（第 7 版） メディカ出版 2023
臺 有桂 他編：ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（第 2 版） メディカ出版 2023
池西静江 編：看護学生スタディガイド 2023（第 9 版）照林社 202

【8】受講生へのメッセージ

事例や体験を通して在宅看護における日常生活援助技術や医療管理を要する人の看護について学びます。